

エスアールジータカミヤ株式会社


2015年3月期 決算説明資料

－ 2015.5.20 －



SRG Takamiya
SUPER RENTAL GROUP

エスアールジータカミヤ株式会社 会社概要

商号	エスアールジータカミヤ株式会社	
設立	1969年6月21日	
代表者	代表取締役社長 高宮一雅	
資本金	7億0,444万円	
従業員数	連結：998名 単体：378名 (2015年3月末時点)	
登記本社	大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワー B 27階	
営業拠点	<p>【支店】東北仙台、東京、名古屋、大阪、九州福岡 (計5)</p> <p>【営業所】札幌、盛岡、福島、鹿島、市原、静岡、北陸、京滋、四国、広島、沖縄 (計11)</p> <p>【機材センター】青森東通、岩手盛岡、宮城仙台、宮城仙台第二、福島須賀川、新潟横越、茨城水戸、茨城つくば、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川愛川、静岡吉田、石川金沢、東海木曾岬、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、大阪岸和田、和歌山桃山、兵庫東条、香川さぬき (計24)</p>	
連結子会社	ホリー(株)、ホリーコリア(株)、ホリーベトナム(有)、(株)キャディアン、(株)イワタ、(株)タツミ、(株)新建ナガキタ、(株)ヒラマツ、(株)SNビルテック、(株)青森アトム、(株)トータル都市整備、アサヒ工業(株) (計12)	
株式上場	<p>2005年05月 JASDAQ証券取引所 (注) 2008年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました</p> <p>2007年12月 東京証券取引所市場第二部</p> <p>2014年12月 東京証券取引所市場第一部指定</p>	

沿革

- 1969 6月 大阪市に(株)新関西を設立
- 1984 11月 東京都にエスアールジータカミヤ(株) (子会社) を設立
- 1987 12月 子会社のエスアールジータカミヤ(株)を吸収合併し、商号をエスアールジータカミヤ(株)とする
- 1990 3月 和歌山県に(有) イワタ (現・連結子会社) を設立
- 1994 7月 新潟県に(有) レンタルナガキタ (現・(株)新建ナガキタ) を設立
- 1994 8月 茨城県に(有) タツミ (現・連結子会社) を設立
- 1998 4月 大阪市に(有) テクノ工房 (現・(株)キャディアン) を設立
- 2004 10月 静岡県に(株)ヒラマツ (現・連結子会社) を設立
- 2005 2月 新ニチメン機材(株)より事業承継を受け東京都にSNビルテック(株) (現・連結子会社) を設立
- 2005 6月 JASDAQ証券取引所に上場 (証券コード: 2445)
- 2007 12月 東京証券取引所市場第二部に上場 (2008年1月 JASDAQ証券取引所上場廃止)
- 2008 10月 青森県に(株)青森アトム (連結子会社) を設立
- 2009 8月 (株)石島機材製作所 (現・(株)トータル都市整備、名古屋市) を連結子会社とする
- 2010 9月 ホリー(株) (東京都) を連結子会社とする
- 2011 9月 ホリー(株)の子会社であるホリーコア(株)を連結子会社とする
- 2014 3月 アサヒ工業(株) (大阪市) を連結子会社とする
- 2014 7月 ベトナム・ドンナイ省にホリーベトナム(有) (連結子会社) を設立する
- 2014 12月 東京証券取引所市場第一部指定

セグメント説明

レンタルセグメント

仮設機材レンタル	●SRGタカミヤ
地域営業	●伊ワタ ●新建ナガキタ ●タツミ
専門工事	●青森アトム ●SNビルテック ●トータル都市整備 ●アサヒ工業
運搬	●ヒラマツ
図面作成	●キャディアン

販売セグメント

仮設機材製造・販売	●ホリー ●ホリーコア ●ホリーベトナム
仮設機材新品・中古販売	●SRGタカミヤ 商事部

事業ドメインの変遷

【建築工事への足場レンタル開始】



建築工事

機材：枠組足場
ビル、マンション、学校、病院



【支保工材を保有、橋梁工事分野へ進出】



橋梁工事

機材：支保工材
高架道路、鉄道、橋



【事業買収により都市型土木分野へ進出】



都市型土木工事

「SNビルテック」
処理場建設工事への進出

(株)SNビルテック

機材：パワーフレーム

【環境保全分野への第一歩】



土壌改良工事

機材：フリーリードーム
工場跡土壌改良



【防災・災害対策分野、将来に向け市場開拓】



斜面防災工事

機材：YTロックシステム
アンカー工、BH工



【再開発による老朽化ビルの解体需要増加を見込む】



解体工事

機材：防音パネル
※以前は他社から転レンタル



スポーツ施設

テニス
フットサルドーム

建築・橋梁

昇降設備
ワーゲン足場

事業ドメインの変遷 2

【改修工事用機材ストックを増加】



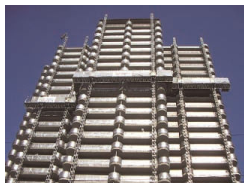
維持補修工事
機材：改修工事用機材
ビル・マンション改修

【足場施工の需要を見込み足場工事業へ本格参入】



足場施工工事
営業本部内に工事部を設立
足場工事を受注

【新築需要の減少、維持補修市場へ／次世代機材の導入】



超高層建物建築・修繕
機材：リフトクライマー
マンション大規模修繕

橋梁・プラント
橋梁橋脚補修
煙突解体

【専用機材センターを開設しプラント分野へ進出】



プラント建設・修繕
市原、鹿島、川崎
専用機材センターの開設
(株)青森アトム設立

【パイプライン、共同溝、地下工事への参入】



シールドトンネル工事
シールド用機材レンタル会社
をグループ化

(株)トータル都市整備

【移動式吊足場で新市場を開発】



橋桁補修
従来では対応できなかった
橋桁改修工事機材を開発

【土木関連事業の強化】



港湾・防潮堤建設
鋼製型枠レンタル・販売会社
をグループ化

アサヒ工業(株)

事業ドメインの変遷 3



レンタル事業
建築、橋梁土木、維持補修
プラント、他、事業領域拡大

【ホリー株式会社を完全子会社化・製造販売事業へ進出】



仮設機材製造販売
継手、落下防止安全機材
クサビ式住宅用足場



住宅用建材製造
木造住宅用構造金物
OME住宅用制振装置

【製造コスト低減のための海外ネットワーク構築】



海外生産拠点
ホリーベトナム設立
一部機材製造をオフショア化

ホリーコリアを含め2拠点体制へ



海外事業部設立：グローバル化への準備

【グループ化によるシナジー創出】



太陽光パネル・架台工事
太陽光発電所架台
パネル設置工事

【太陽光パネル架台の開発・販売】



太陽光パネル架台
家庭用、産業用
太陽光発電所向け架台

【レンタルノウハウを開発に反映】



システム足場製造販売
次世代足場「Iqシステム」

【オリジナル建材開発・製造販売】



建材開発・販売
木造住宅用
制振装置「WUTEC-SF」

トピックス

- **2015年3月 SRGタカミヤ(株)東京支店、ホリー(株)本社、(株)キャディアン東京支店、(株)トータル都市整備東京支店 移転**

住所：東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング11階・12階



- **2015年4月 ホリー(株)仮設営業部門をSRGタカミヤに移管**

ホリー(株)仮設営業部門をエスアールジータカミヤ(株)へ統合し、経営資源を集中した体制を構築しました。これにより、営業体制の強化と業務効率化を図ってまいります。

- **2015年4月 関東エリアにて次世代足場IqシステムのCM放送開始**

4月5日から9月末にわたり、日テレ「真相報道バンキシャ！」関東ローカル限定にて「Iqシステム」のテレビCMが放送されます。

【放送局】日本テレビ

【番組名】真相報道バンキシャ！

【時間】18時～18時55分（毎週日曜日）

※関東ローカル限定になります（東京、神奈川、千葉、茨城、群馬、栃木）

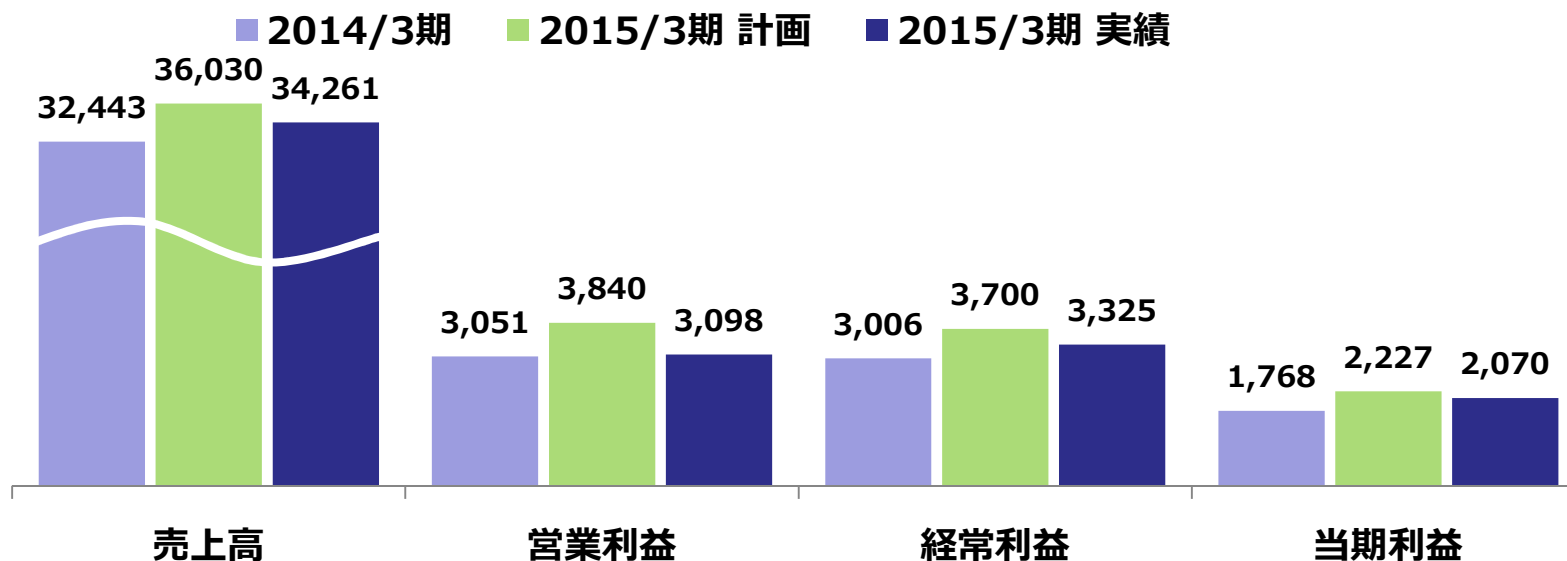
連結業績（累計期間）

連結業績 (単位：百万円)	2015/3期 予想		2015/3期 実績		前期実績 (2014/3期)		対前年 増減率
		売上高比		売上高比		売上高比	
売上高	36,030	-	34,261	-	32,443	-	+5.6%
売上総利益	-	-	10,856	31.7%	9,832	30.3%	+10.4%
販管費	-	-	7,758	22.6%	6,781	20.9%	+14.4%
営業利益	3,840	8.7%	3,098	9.0%	3,051	9.5%	+1.5%
経常利益	3,700	8.4%	3,325	9.7%	3,006	9.3%	+10.6%
当期純利益	2,227	4.8%	2,070	6.0%	1,768	5.5%	+17.1%
一株当たり純利益 (潜在株式調整後一株純利益)	49.66円	-	46.17円 (44.63円)	-	40.17円 (38.81円)	-	-
一株当たり配当金	-	-	2Q末：7円 期末：9円	-	2Q末：5円 期末：8円	-	-
減価償却費 (CF計算書ベース)	-	-	3,649	10.7%	3,369	10.4%	+8.3%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	-	-	6,747	19.7%	6,421	19.8%	+5.1%
ROE	-	-	19.8%	-	21.5%	-	-

注) 「EBITDA」は、簡便的に“営業利益 + 減価償却費”にて算出しております。／「売上総利益」、「販管費」の予想は非公表です。
 ROE算出における株主資本は期初と期末の平均値を使用しています。

PL分析

単位：百万円



	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
対前年増減 (計画比)	5.6% (-4.9%)	1.5% (-19.3%)	10.6% (-10.1%)	17.1% (-7.0%)
要因	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設機材販売が堅調に、中古売却が予定通りに推移 ・太陽光関連事業の減収 ・土木工事着工遅れの影響でレンタル稼働が低迷 	<ul style="list-style-type: none"> ・増収に伴う粗利益の増加 ・レンタル単価の改善 ・減価償却負担の増加 ・販管費の増加（人員増） 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業利益の増加 ・持ち分法による投資利益（太陽光発電所） ・為替差益の計上 	<ul style="list-style-type: none"> ・経常利益の増加

連結貸借対照表

			(百万円)
	2014/3	2015/3	増減額
流動資産	15,892	18,213	+2,321
固定資産	21,353	25,307	+3,954
有形固定資産	17,213	21,306	+4,093
無形固定資産	730	724	-6
投資その他の資産	3,408	3,275	-133
流動負債	15,356	18,070	+2,714
固定負債	12,130	13,687	+1,557
純資産合計	9,758	11,762	+2,004
負債及び純資産合計	37,245	43,520	+6,275

【資産の部】

流動資産

商品及び製品／増加：1,299百万円（ホリ－棚卸資産）

売上債権／増加：396百万円

固定資産

賃貸資産（純額）／増加：2,371百万円（Iq投資）

建物及び構築物（純額）／増加：512百万円（工場投資）

機械装置及び運搬具（純額）／増加：658百万円（工場）

投資その他の資産

その他／減少：484百万円

（ホリ－ベトナム貸付：前期連結除外）

【負債の部】

短期借入金／増加：1,968百万円

長期借入金／増加：1,536百万円（Iq投資：調達）

【純資産の部】

利益剰余金／増加：1,729百万円

資本金、資本剰余金／増加：49百万円

（ストックオプション権利行使）

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)		
	2014/3期	2015/3期
税金等調整前当期純利益	3,003	3,322
営業キャッシュフロー小計	2,839	△1620
投資キャッシュフロー小計	△1,239	△1,563
財務キャッシュフロー小計	△715	2,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	96
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	902	△159
現金及び現金同等物の期首残高	3,076	3,979
現金及び現金同等物の期末残高	3,979	4,233

【営業キャッシュフロー】

減価償却費／増加：280百万円

賃貸資産の取得による支出／増加：1,121百万円

たな卸資産の増加額／増加：2,661百万円

【投資キャッシュフロー】

有形固定資産の取得による支出／増加：1,229百万円

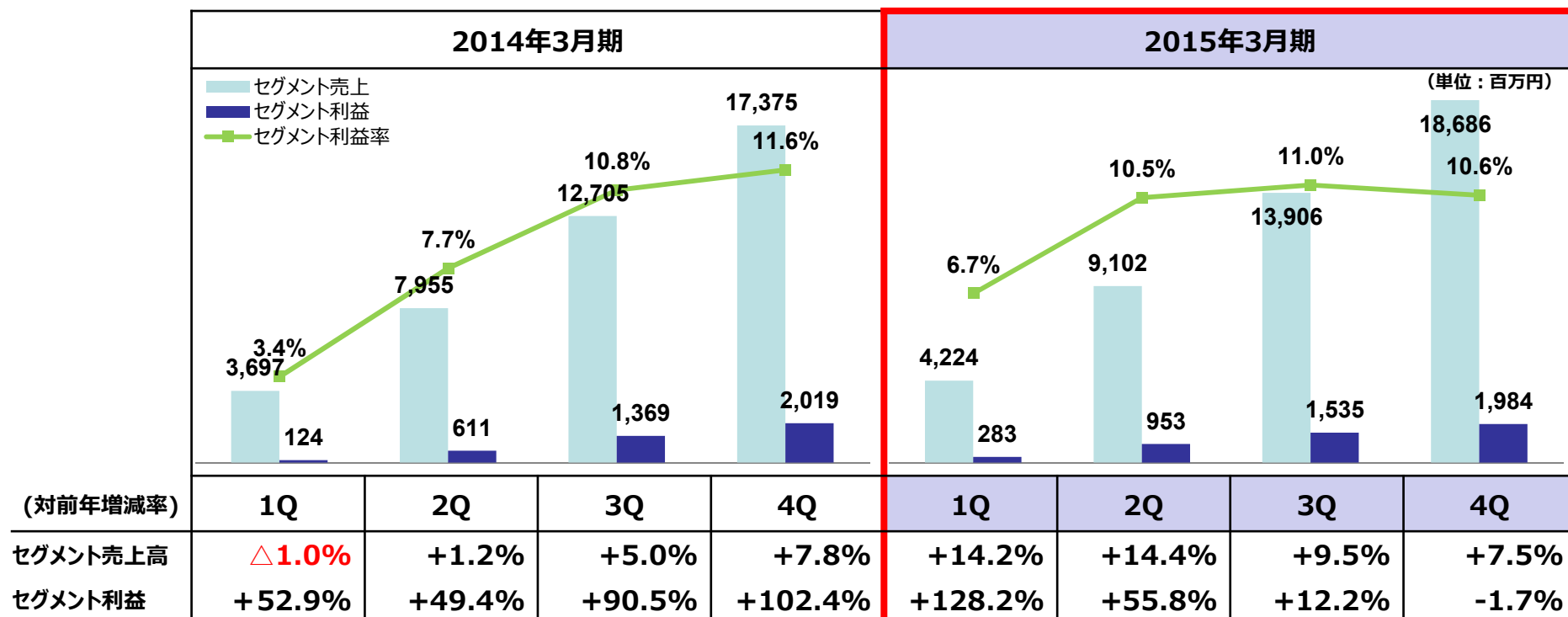
貸付金の回収による収入／増加：1,071百万円

【財務キャッシュフロー】

短期借入金純増額／増加：1,134百万円

長期借入れによる収入／増加：1,975百万円

セグメント別売上高 / レンタル関連事業（累計期間）



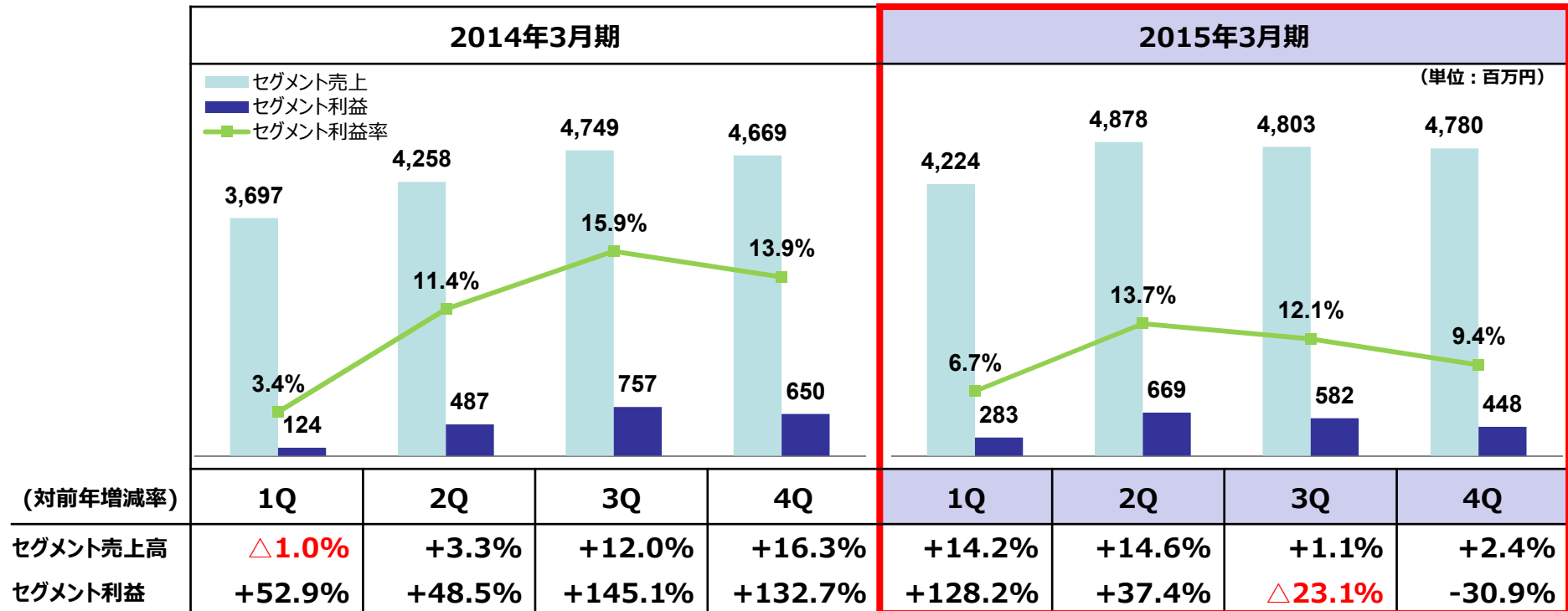
要因

土木案件の着工が大幅に遅れた影響で土木機材のレンタル稼働率が低く推移する。

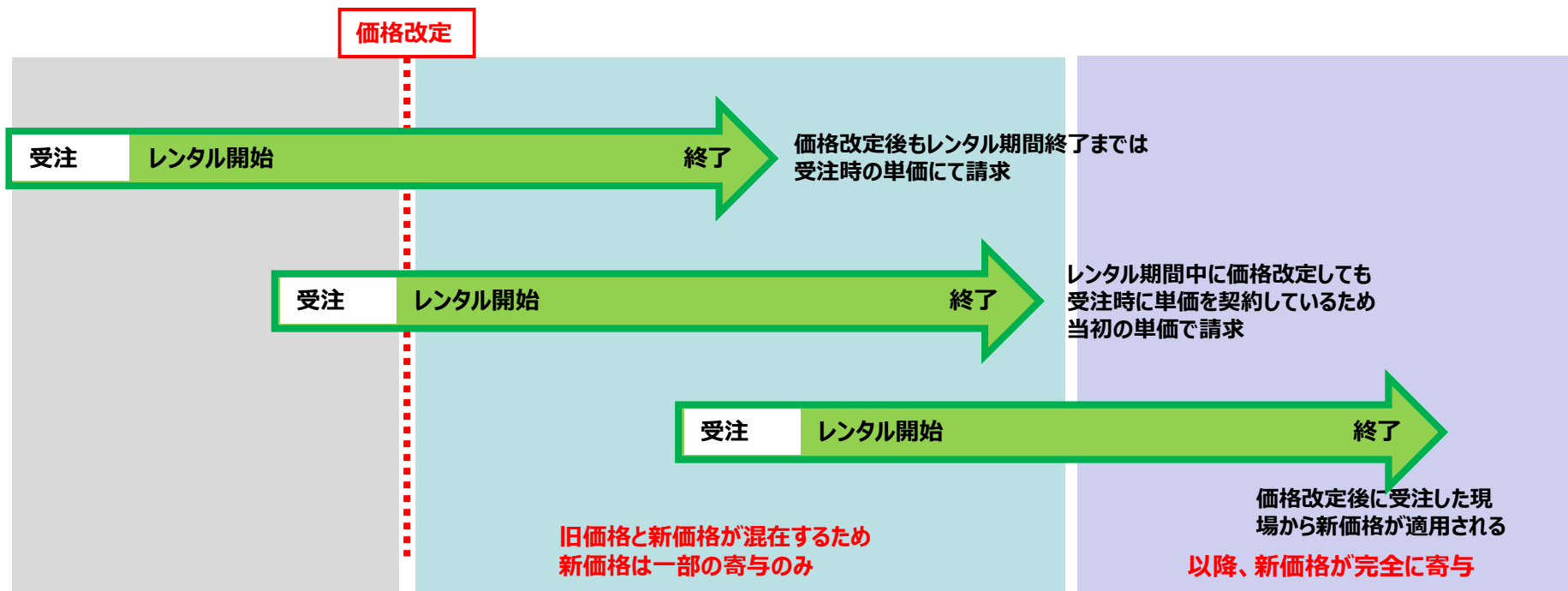
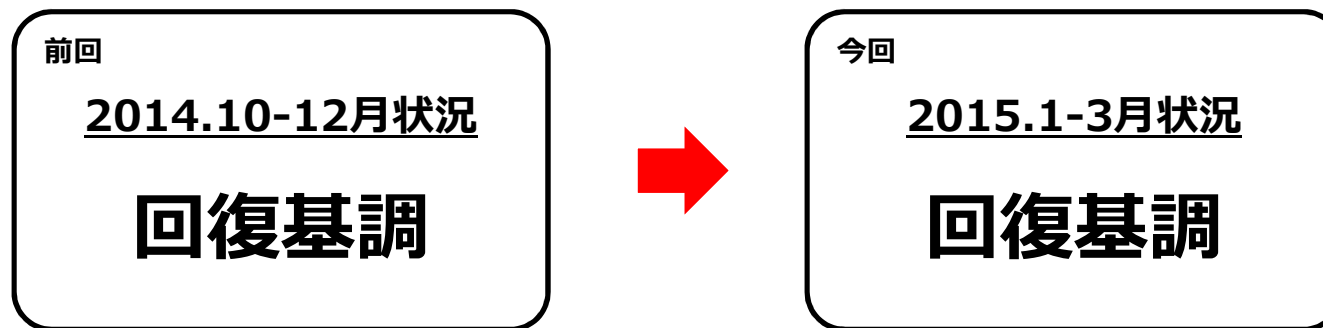
単価は引き続き改善傾向。建築用仮設機材の稼働は水準としては高いものの3月にかけて返納が進む。

Iqシステムの稼働は高く推移する。建築の新築工事、修繕工事ともに実績を着実に積み重ねる。

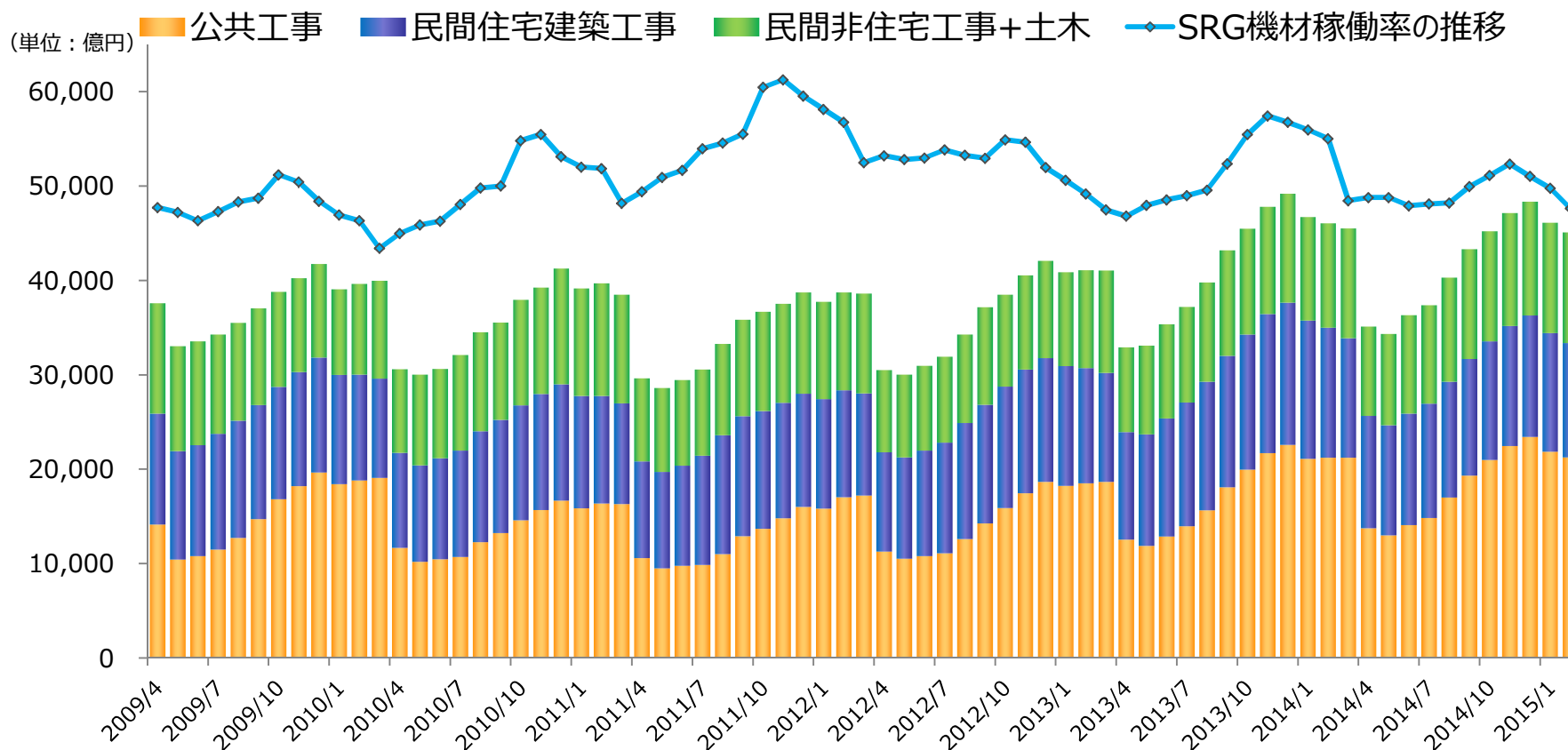
セグメント別売上高 / レンタル関連事業 (会計期間)



レンタル事業価格動向



国内建設工事出来高と当社機材稼働率の推移

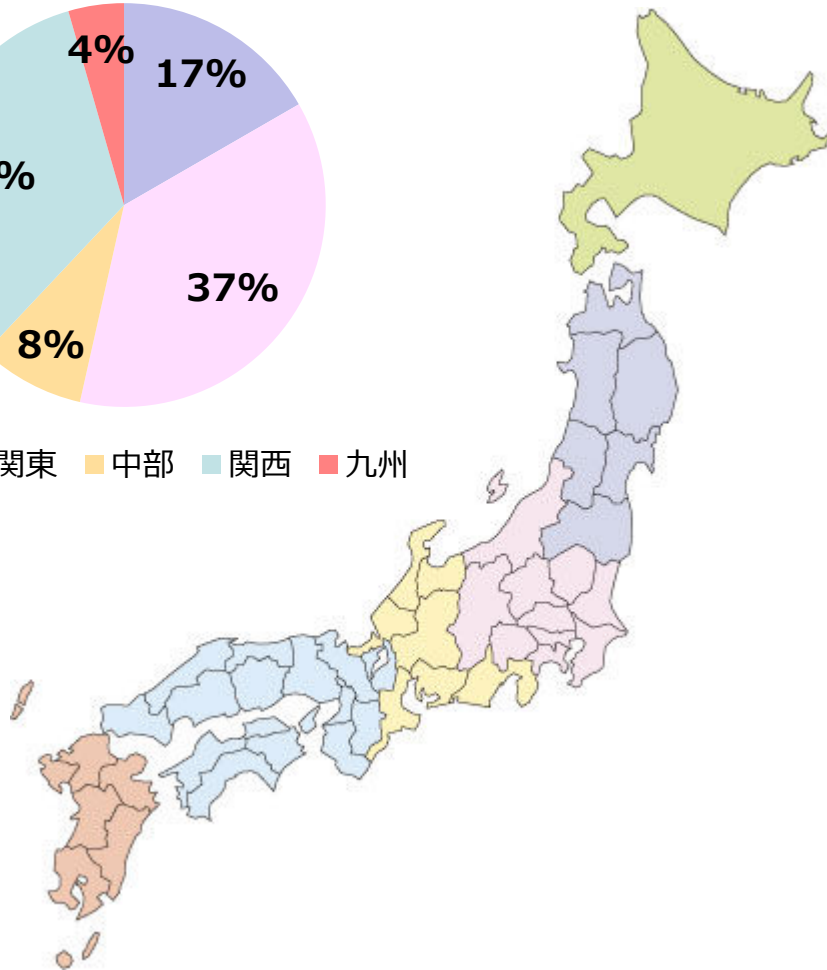
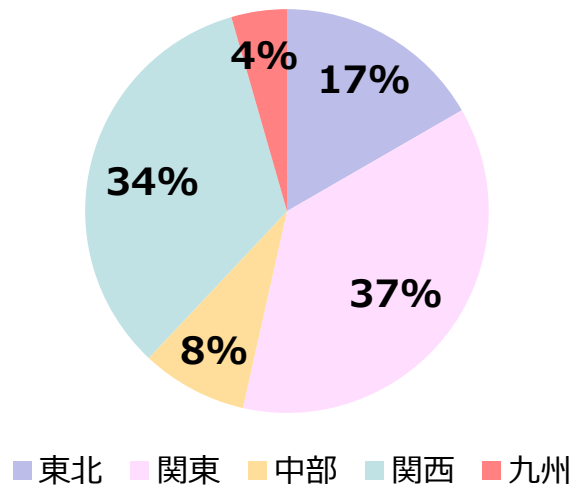


未消化工事	公共工事	民間住宅建築工事	民間非住宅工事+土木
2015年2月時点	147,687	41,424	70,176
2014年11月時点	169,107	44,060	73,437

「国内建設工事出来高」、「未消化工事」：国土交通省 建設総合統計より

レンタル事業 ブロック別売上比率と主要受注案件

レンタル売上構成比率



東北ブロック

- 復興住宅新築工事
- 放射線除染工事

関東ブロック

- 圏央道橋梁工事
- 首都高橋梁修繕工事
- 新東名橋梁工事
- 中部横断道橋梁工事
- 高齢者住宅新築工事
- 高層マンション大規模修繕工事

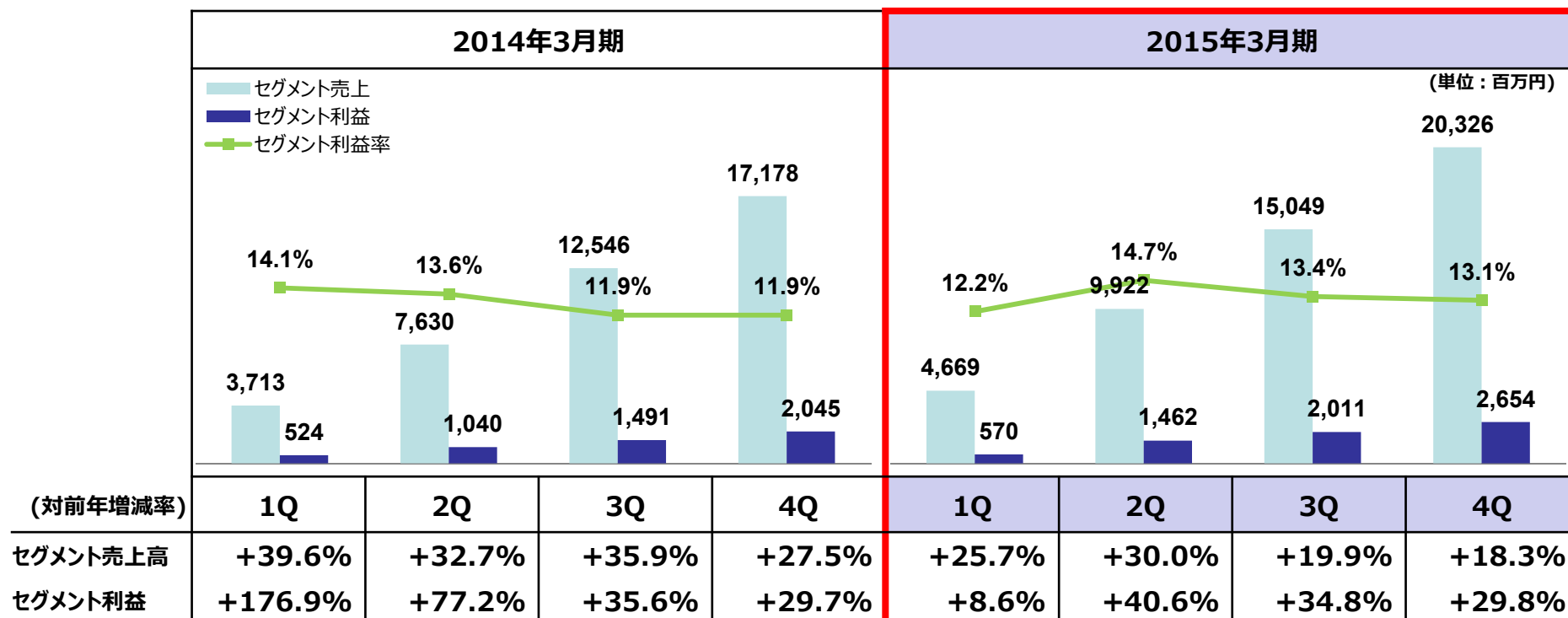
中部ブロック

- 原子力発電所耐震化工事

関西ブロック

- 新名神高速道路橋梁工事
- 東海道新幹線橋梁修繕工事
- 小学校新築工事

セグメント別売上高 / 販売関連事業（累計期間）



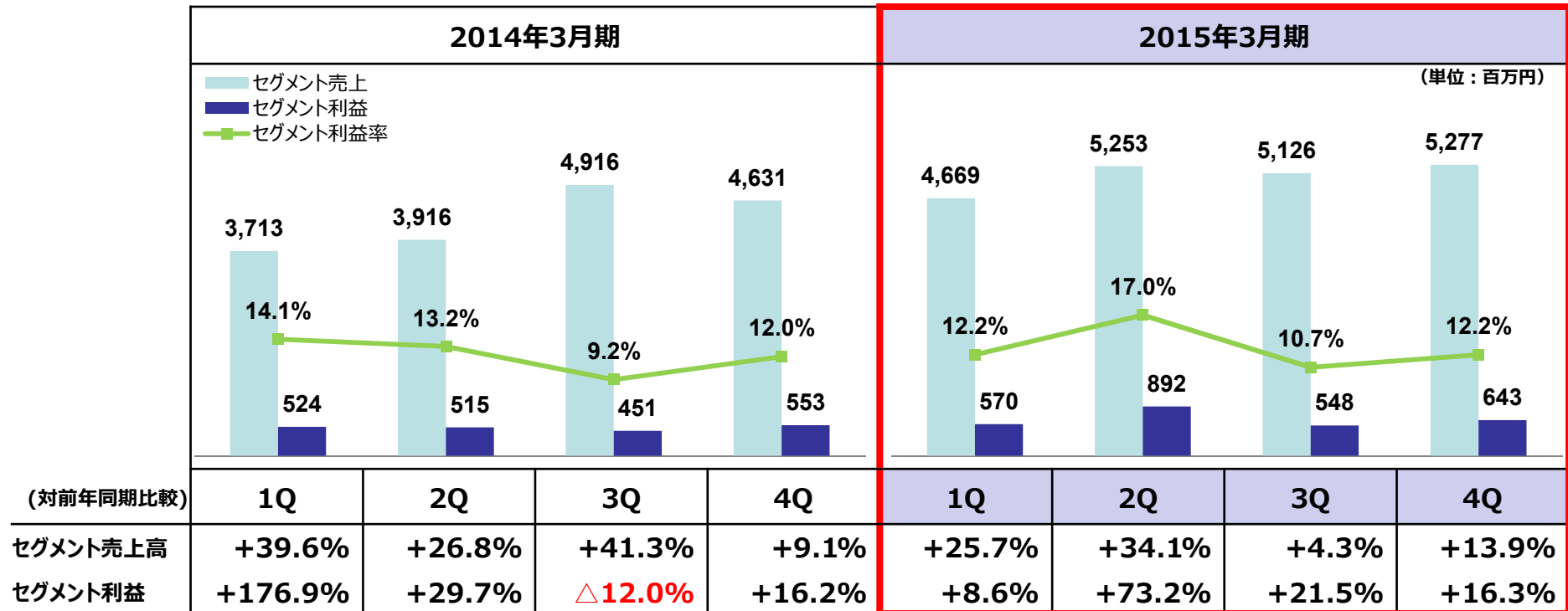
要因

クランプや先行手すりなどの建設関連機材の販売が堅調に推移。

太陽光発電パネル設置用架台は、日本国内での電力会社による接続申込み回答保留の影響が強いが、韓国での実績が伸びる。

Iqシステムの販売が順調に進捗し、ゼネコンでの採用が実現する。賃貸資産の入れ替えに伴う従来品の中古売却は計画通りに行う。

セグメント別売上高 / 販売関連事業 (会計期間)

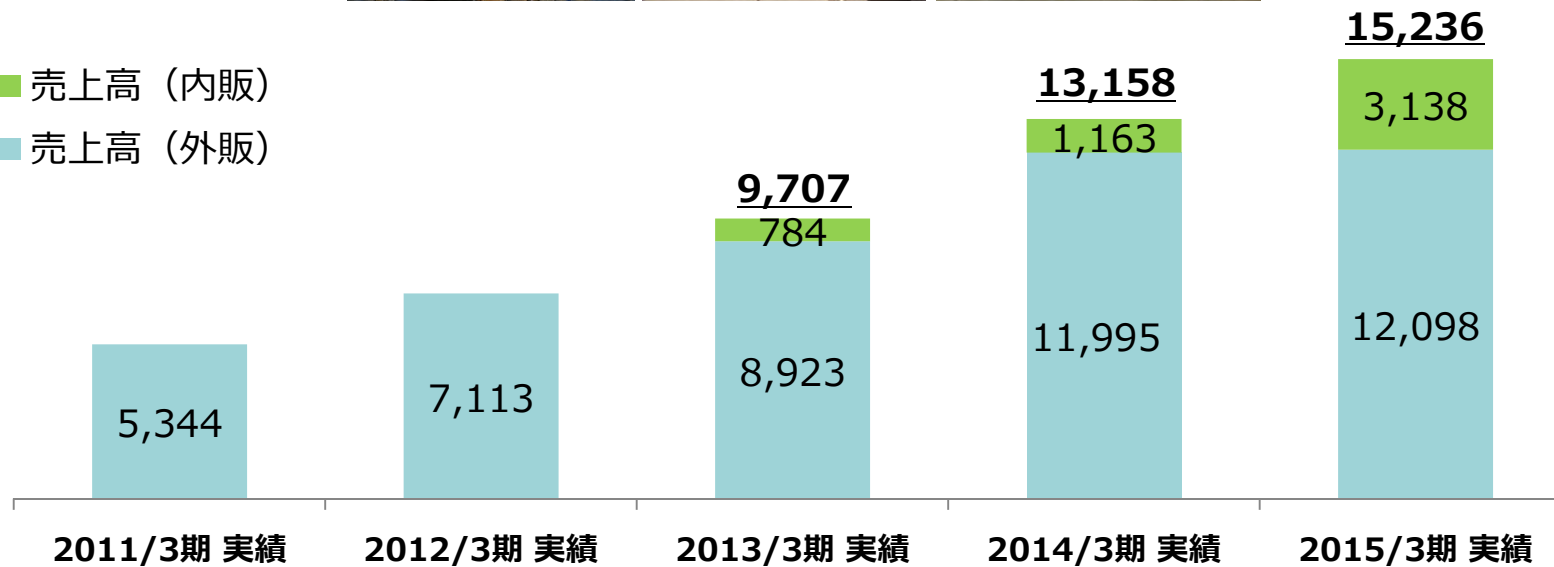


ホリー株式会社 通期売上高推移



(単位：百万円)

- 売上高 (内販)
- 売上高 (外販)

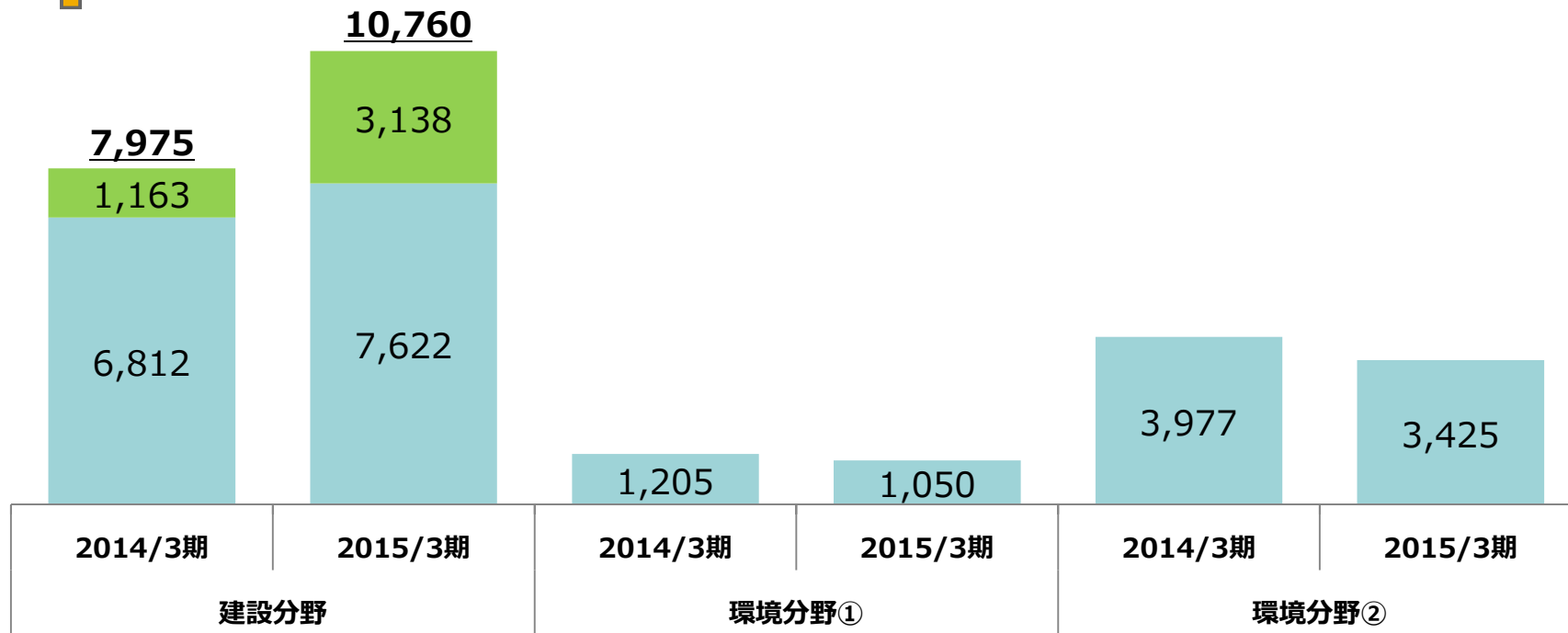


ホリ株式会社 分野別売上高推移



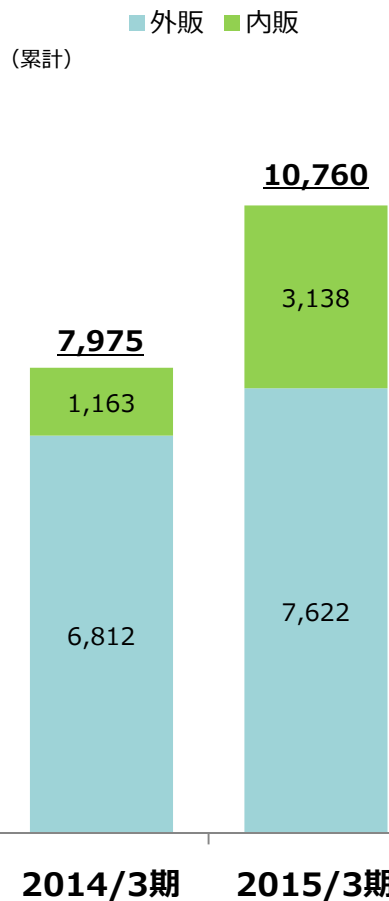
■ 外販 ■ 内販

単位：百万円



建設分野

hory



緊結金具



パイプなどを緊結する為の金具で汎用性が高く、あらゆる工事現場で使用されることの多い機材。

安全機材



建設現場における作業従事者の墜落防止や周辺への落下物防止のための安全機材。

次世代足場「Iqシステム」



階高1,900mm、先行手摺1,000mm以上の新しい規格の建設作業用次世代足場。

主要なクランプの売上は前年比17%減少したが、その他の製品販売が堅調に推移し前年比増収となる。

戸建て用足場の需要は一巡したものの、Iqシステム（次世代足場）の販売は堅調に推移した。

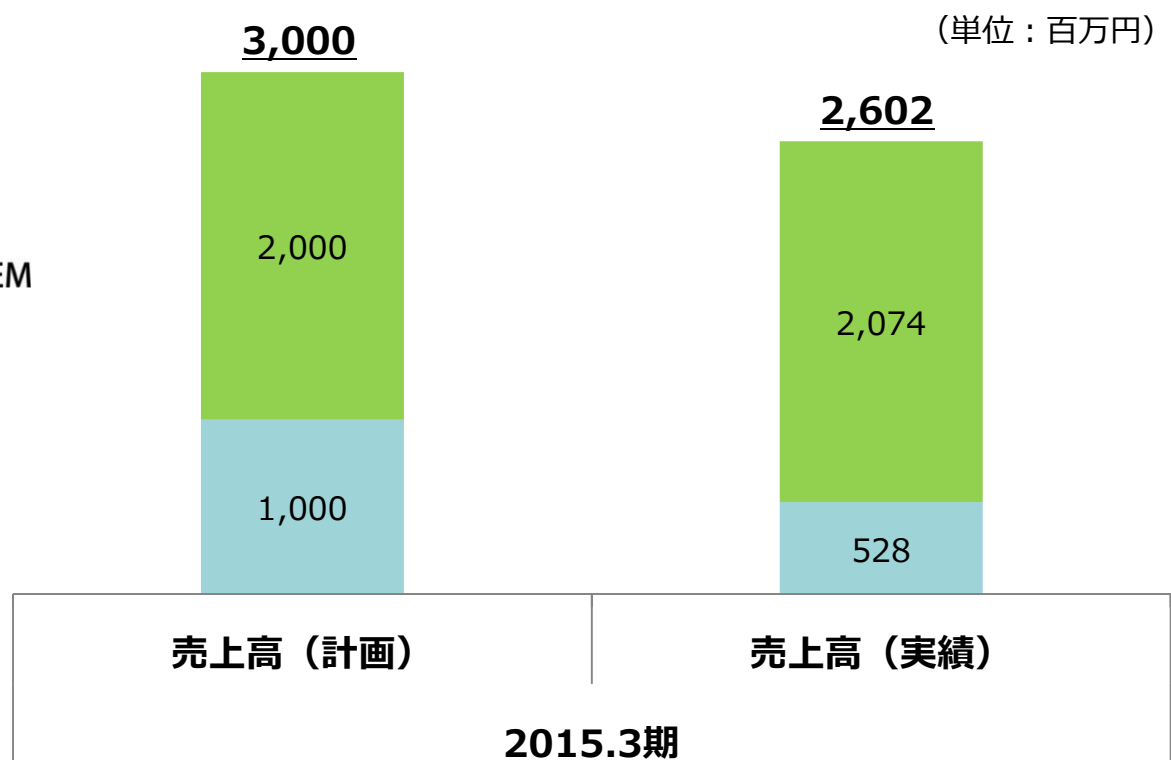
橋桁の修繕工事などで使用される吊り足場の「スパイダーパネル」など、新製品の生産体制を構築中。

ホリー株式会社 Iqシステム売上実績



 アイキュー SYSTEM

■ 内販
 ■ 外販



仮設工業会の認証取得、製造工程の外注部分に遅れが生じ生産量が計画を下回る。

グループ内の賃貸資産への組み入れを優先して進める。

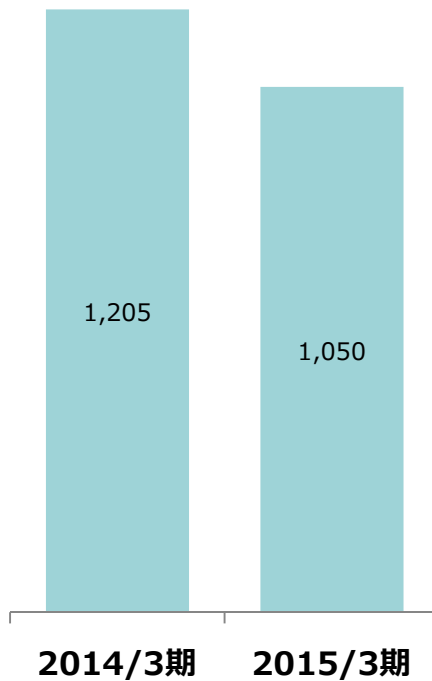
2016年3月期にはさらに生産力を強化する計画。

環境分野①

hory

■ 外販 ■ 内販

(累計)



住宅用構造金物



住宅用のバルコニー部材、木造住宅用各種金物などに各種建材を製造販売。

住宅用制振装置



震災以降、住宅の耐震化率がたかまっています。耐震金物の他、ハウスメーカー向けの制振装置も製造。

WUTEC-SF



ホリー社オリジナルの木造住宅用耐震・制震壁。国土交通大臣認定「壁倍率」を取得。新築、リフォームとも使用可能。

新規住宅着工が伸び悩み、主要なハウスメーカーからの受注が減少。

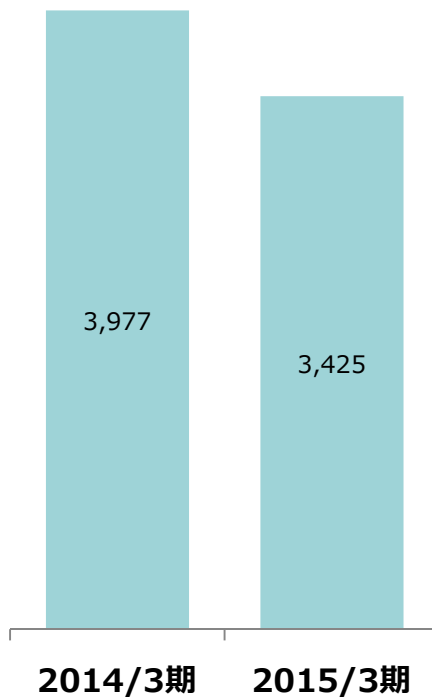
パワービルダーや地場ハウスメーカーなどへの制振装置の販路開拓を進める一方、2×4工法やS造工法向けの制振装置の開発を進め、品揃えを強化。

環境分野②

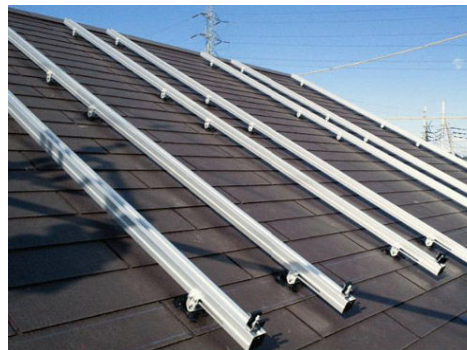
hory

■ 外販 ■ 内販

(累計)



住宅用架台



屋根金具専門メーカーとのタイアップで、パネルメーカー各社のサイズに対応できる為、高い評価を頂いております。

メガソーラー、産業用架台



仮設機材製造・設計技術を用いたユーザーニーズに応じた素早い対応力と新製品の開発で受注拡大による大幅な売上増加。

太陽光発電システム



SRGタカミヤグループの仮設機材、工事、設計、運搬のネットワークを生かしたワンストップサービスを提供。

再生可能エネルギーの買取価格値下げや電力会社の接続申込みへの回答保留により受注は減少。

太陽光パネル架台の新製品（マウンティングパック）や、海外パネルメーカーとの家庭用架台など低圧用への取組みを推進。

農業用ハウスなどの新規事業への取組みを開始。

販売セグメントの仮設営業部門を統合

2015年4月よりホリー(株)の仮設営業部門をSRGタカミヤ(株)へ統合

建設分野

クランプ、Iqシステム、その他足場材



**SRGタカミヤ(株)にて
営業展開**

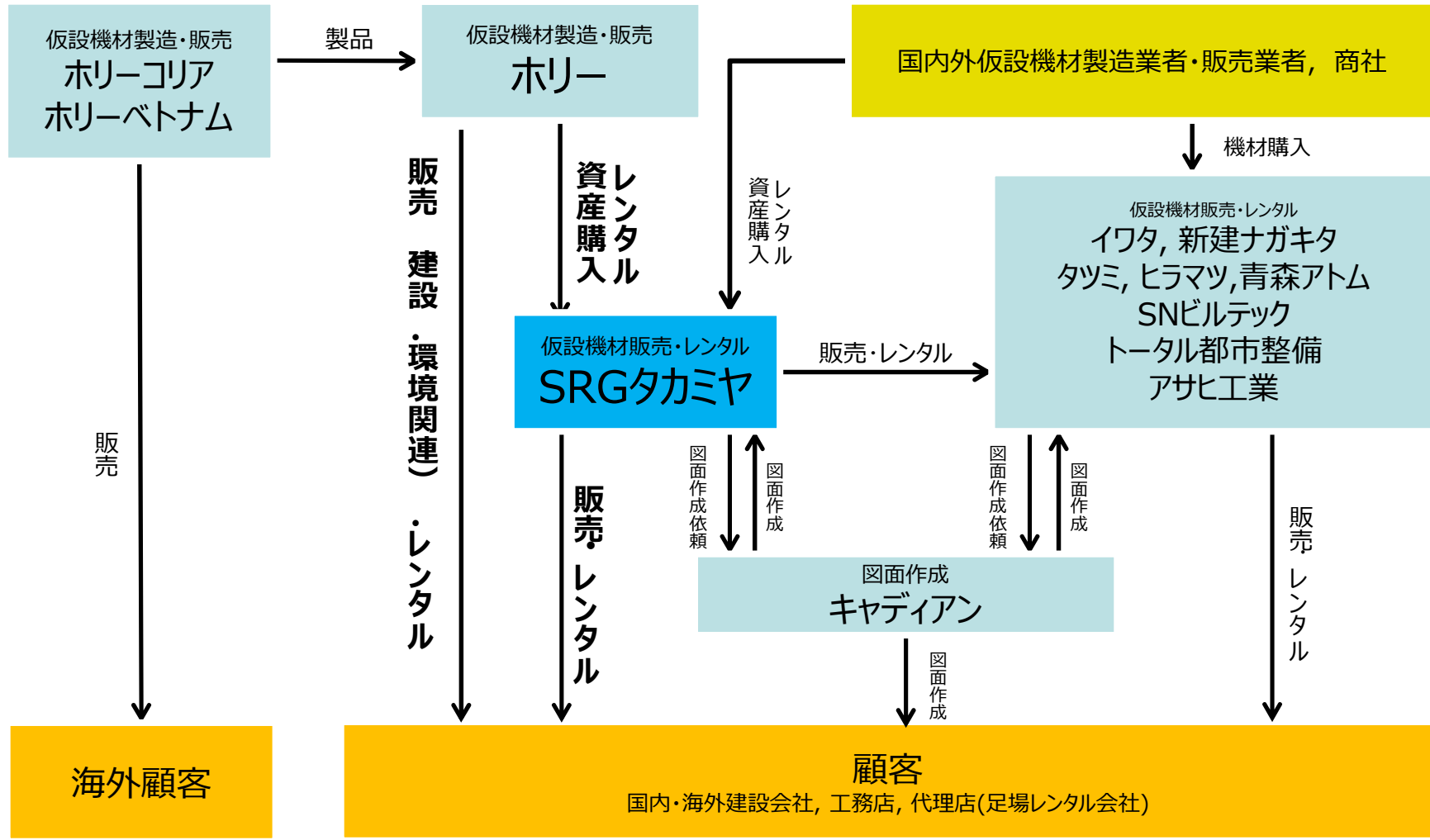
環境分野①②

戸建て住宅向け制振装置、構造金物
太陽光パネル設置用架台、その他環境関連商品

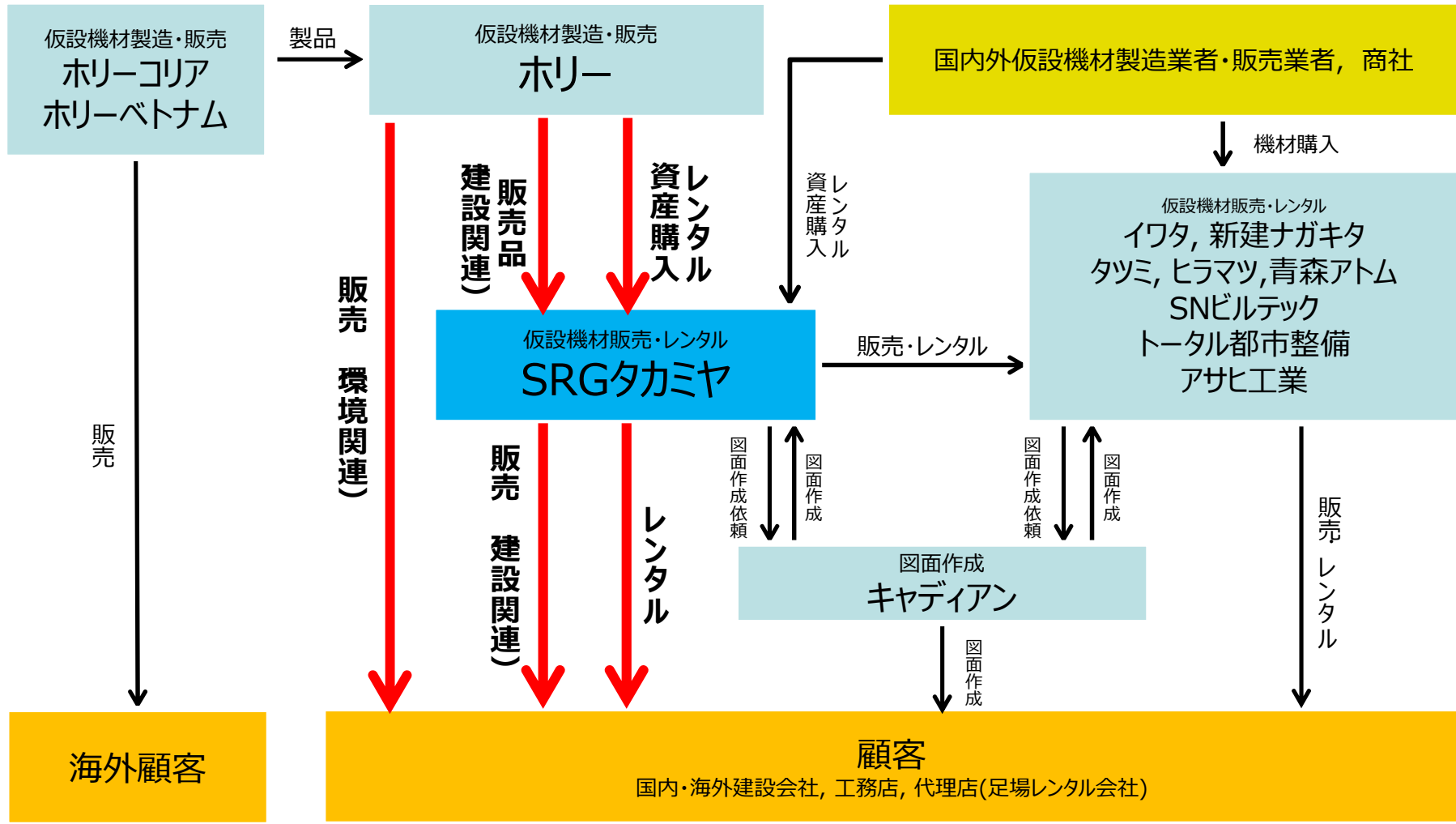


**引き続き
ホリー(株)にて営業**

事業系統図 (2015年3月迄)

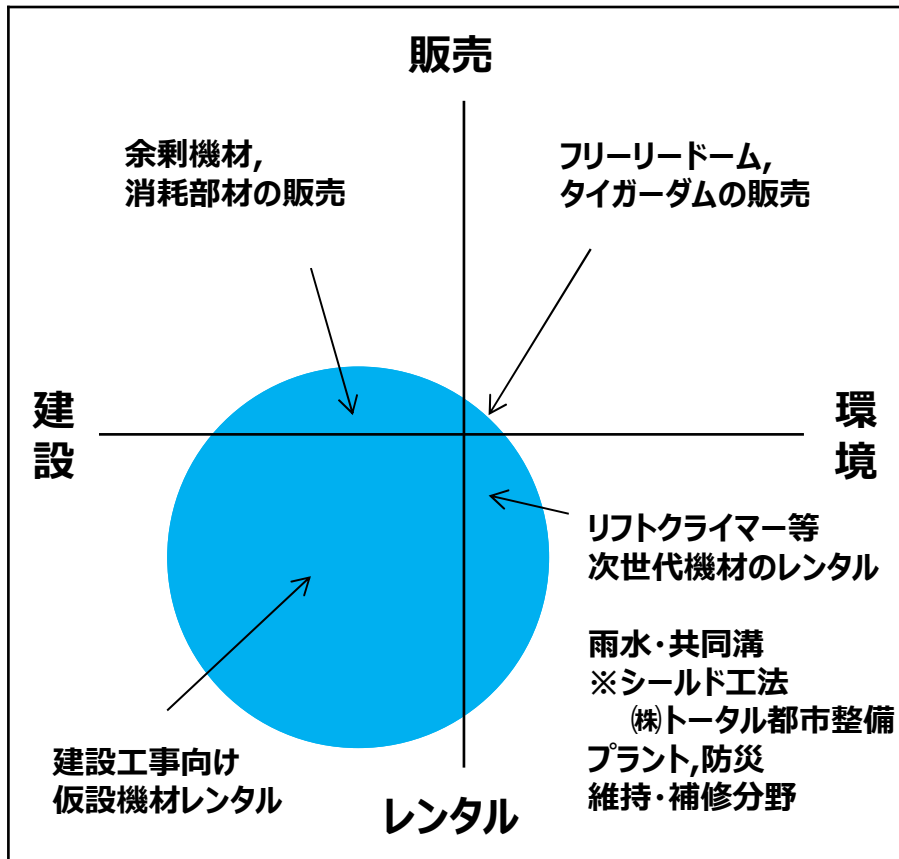


事業系統図 (2015年4月以降)

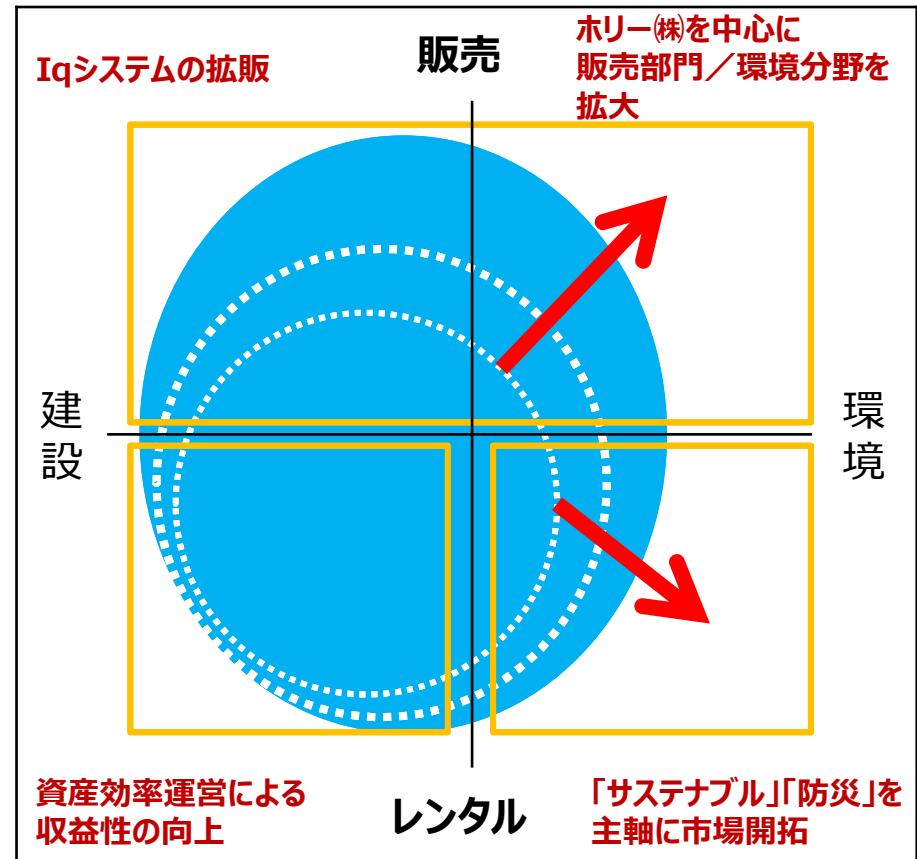


SRGタカミヤグループ経営戦略イメージ

従来のSRGタカミヤグループ



SRGタカミヤグループ経営戦略



成長分野を明確にするためにセグメント別で戦略立案

今後の見通し

業界環境

- 老朽化した社会インフラの維持、補修、耐震化などへの公共投資
- 東京オリンピック開催に向けた首都圏のインフラ整備、再開発などの投資活性化
- 2015年7月施行の改正労働安全衛生規則による安全意識の高まり
- 慢性的な労働者不足と材料価格高騰による公共工事の進捗遅れが継続
- 消費増税による住宅関連設備の需要減少
- 電力会社の接続申込み回答保留による太陽光発電システムの需要減少

内部環境

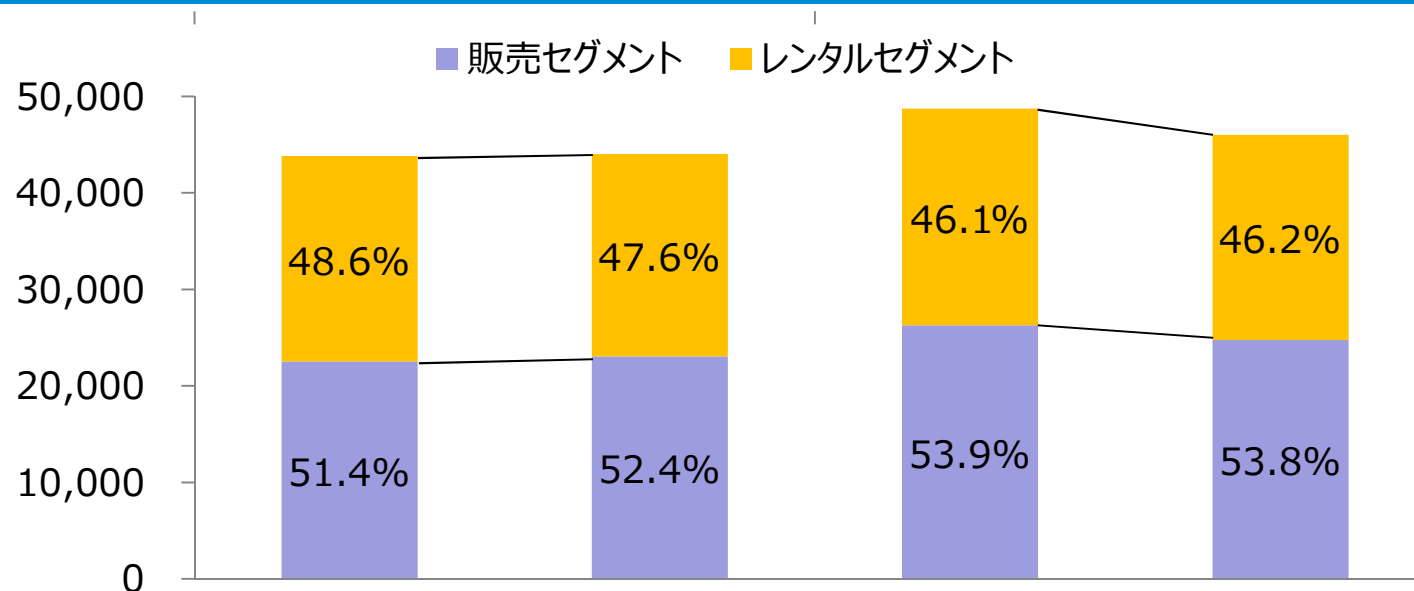
- 業容拡大に向けた人材の採用、確保のため人件費が増加
- 本社移転その他の投資による販管費の増加

以上の状況を踏まえ、中期経営計画の修正を致しました。(5月19日発表)

中期業績目標の修正

単位 (百万円)	2016年3月期		2017年3月期	
	当初	修正	当初	修正
売上高	40,000	39,000	45,000	42,000
営業利益 ①	4,400	3,800	5,200	4,300
経常利益	4,300	3,700	5,000	4,200
当期純利益	2,600	2,330	3,100	2,760
経常利益率	10.8%	9.5%	11.1%	10.0%
減価償却費(CF) ②	4,480	4,250	4,780	4,420
EBITDA (①+②)	8,900	8,050	9,990	8,720

セグメント別売上高目標の修正



※グラフ内数値は、内部消去を考慮しない構成比率です

単位 (百万円)	2016年3月期		2017年3月期	
	当初	修正	当初	修正
レンタルセグメント	21,280	20,970	22,450	21,240
販売セグメント	22,540	23,066	26,270	24,760
内部消去	△3,820	△5,036	△3,720	△4,000

投資計画の進捗状況

(単位：百万円)

- 設備投資
- 賃貸資産（その他）
- 賃貸資産(Iq)



	2015/3期 通期 (計画)	2015/3期 通期 (実績)
投資額	10,000	7,510

減価償却費

賃貸資産償却費	3,070	2,898
設備減価償却費	430	751
減価償却費合計	3,500	3,650

	2016/3期 通期 (計画)	2017/3期 通期 (計画)
投資額	11,150	9,000

	3,350	3,550
	900	870
減価償却費合計	4,250	4,420

Iqシステム売上計画

2015年3月期実績 … レンタル受注現場500現場以上、販売社数50社以上

レンタルセグメント	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (計画)	2017年3月期 (計画)
期末保有額 (百万円)	3,191	6,300	9,500

販売セグメント	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (計画)	2017年3月期 (計画)
売上高 (百万円) ※外部販売のみ	528	3,000	4,500

海外展開の進捗状況

- **海外事業部**

東南アジアを中心にマーケティングリサーチならびに営業中。
人員を増強し体制を強化。

- **SRG Global Holdings Co.,Ltd.**

海外事業の一層の強化及び効率化に向けた体制整備の一環
としてタイに法人を設立。

- **ホリーコリア株式会社**

日本向けのクランプ生産のほか、韓国国内での販売を進める。
足場のほか太陽光パネル設置用架台の需要が見込める。

- **ホリーベトナム有限会社**

クランプを中心とした生産を行う。人員の採用が進み本格的に
稼働する。ベトナム国内での販売を開始。



クランプ



ホリーベトナム工場

2016年3月期 連結業績予想（累計期間）

（単位：百万円）

	第2四半期		通期	
		売上高比率		売上高比率
売上高	18,210	—	39,000	—
営業利益	1,455	7.9%	3,800	9.7%
経常利益	1,410	7.7%	3,700	9.4%
当期純利益	815	4.4%	2,330	5.9%
1株当たり当期純利益	18.07円		51.66円	

配当の状況

株式分割 (1→2) 2013/4



株式分割 (1→2) 2015/1



	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期 予想
配当金	20円	20円	13円	16円	10円
内訳) 1Q	-	-	-	-	-
2Q	-	-	5円	7円	3.5円
3Q	-	-	-	-	-
4Q	20円	20円	8円	9円 ※普通配当6.5円 記念配当2.5円	6.5円
配当金額総額	214百万円	214百万円	290百万円	563百万円	-
配当性向	28.6%	26.6%	16.2%	27.1%	-

※2013年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。/2015年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 ※2015年3月期の期末配当金にて東証一部指定に伴う2.5円の記念配当を実施します。

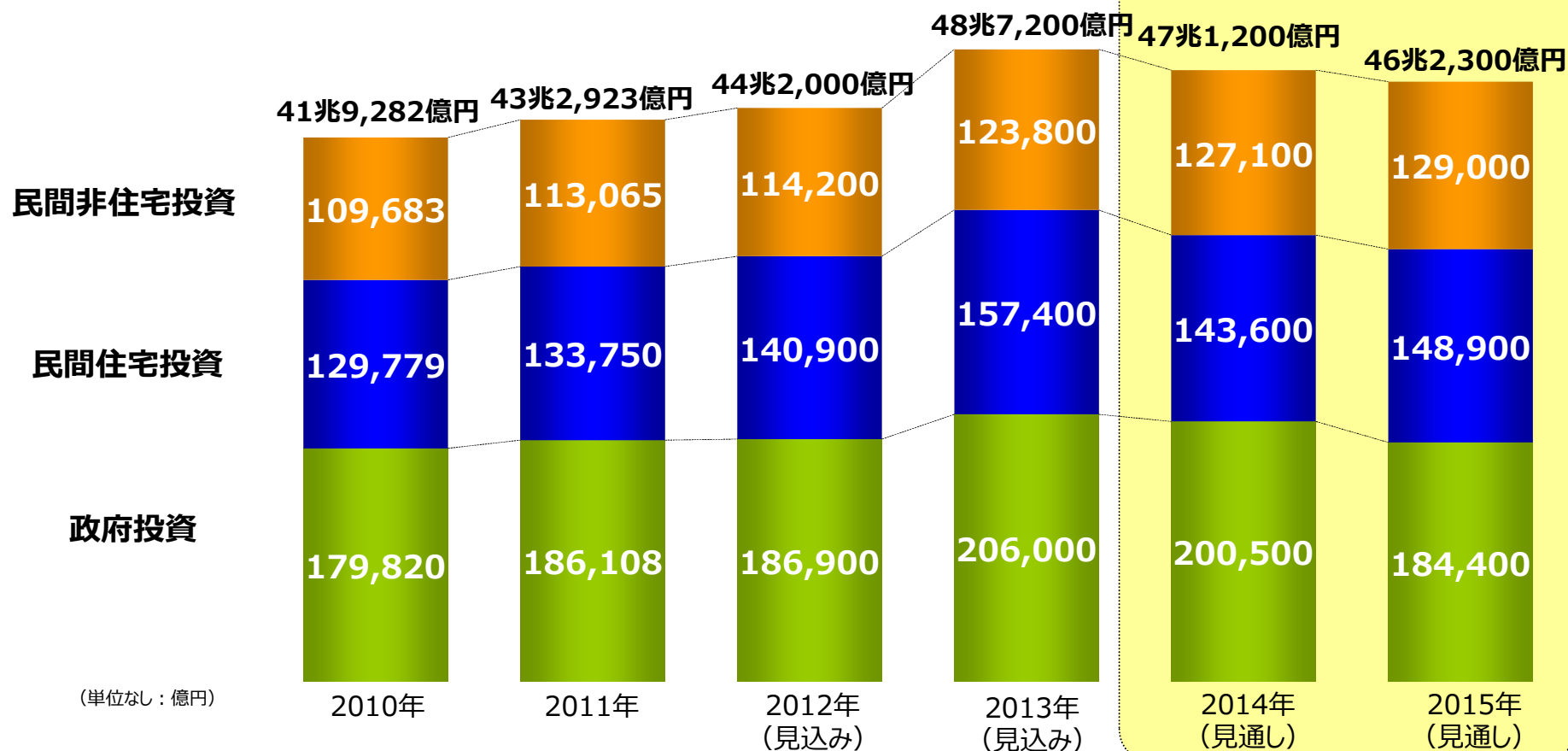
ご清聴ありがとうございました。

国内建設投資額推移

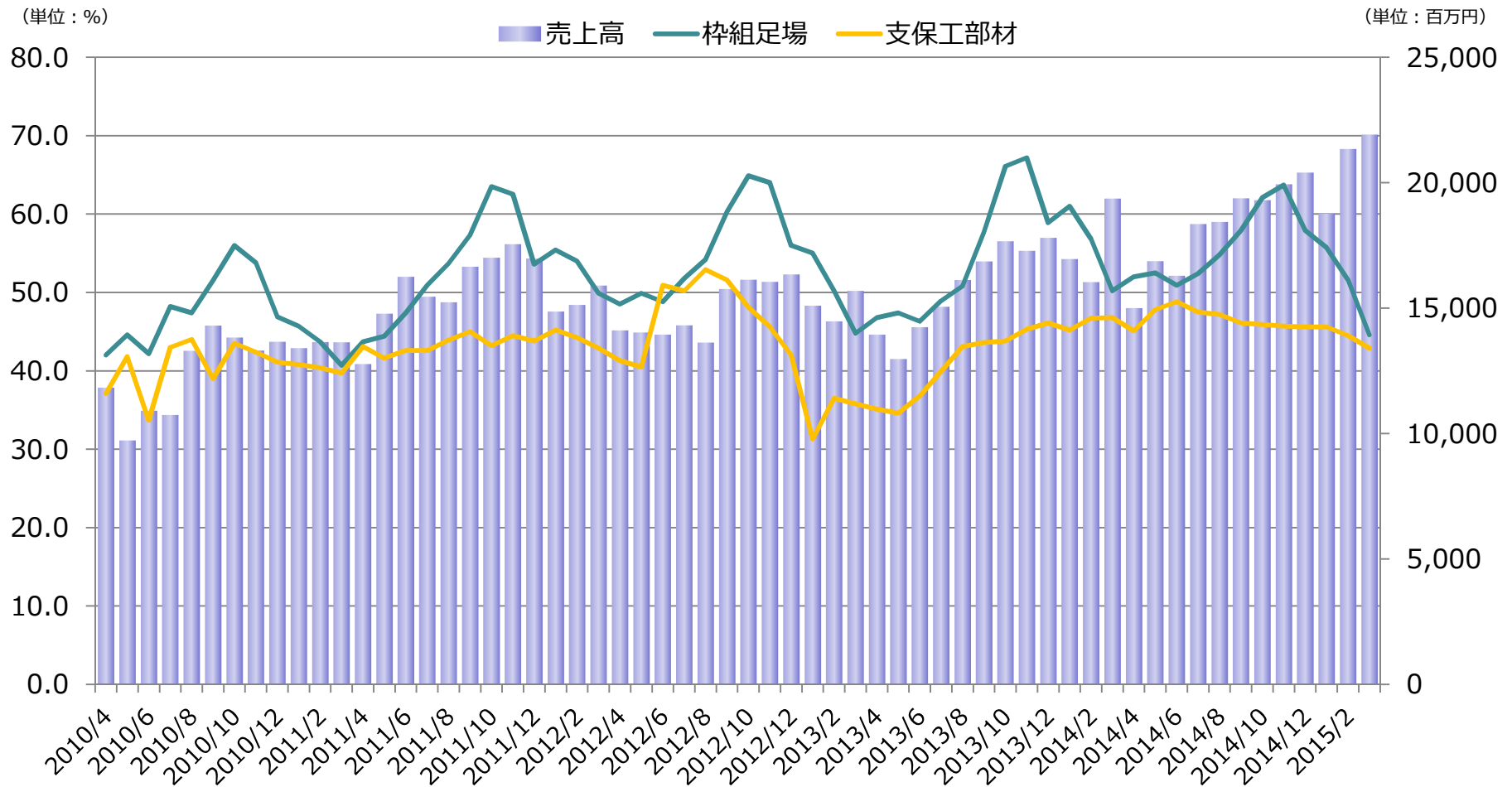
建設経済研究所 2015年4月発表資料

減少の見通しではあるものの2012年度を超える水準を維持

2014年度は **3.3%減少**
2015年度は **1.9%減少**
の見通し



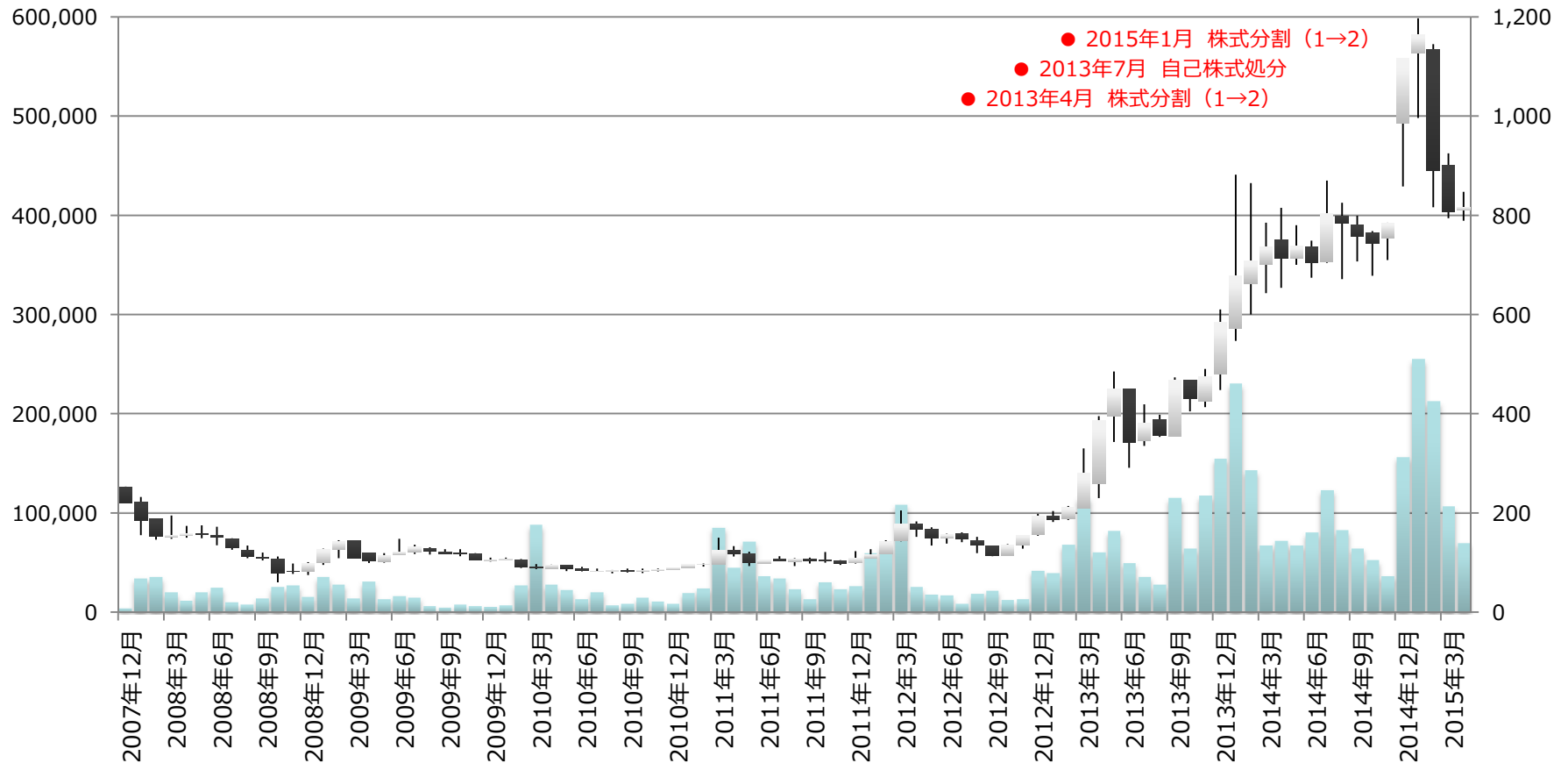
軽仮設リース業50社の機材稼働率と売上高の推移



出所：国土交通省「建設機械器具リース業等の動態調査時系列」を加工

2445.T SRGタカミヤ 株価推移

一日平均出来高



発行済み株式数 : 45,104,000株

株主数 : 3,471名

※2015年3月末時点

連結業績の推移

(単位：百万円)	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期
売上高	14,530	17,490	23,201	28,113	32,443	34,261
営業利益 ①	678	722	1,037	1,605	3,051	3,098
当期純利益	337	302	755	807	1,768	2,070
総資産	25,283	29,594	32,472	33,987	37,245	43,520
純資産 (自己資本)	5,679	5,738	6,380	7,110	9,758	11,762
減価償却費(CF) ②	2,602	2,745	3,088	3,280	3,369	3,649
EBITDA (①+②)	3,280	3,468	4,126	4,886	6,421	6,747
	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期
ROE (株主資本利益率)	6.1%	5.4%	12.7%	12.2%	21.5%	19.8%
売上高純利益率③	2.3%	1.7%	3.3%	2.9%	5.5%	6.0%
総資産回転率④	0.57	0.58	0.71	0.83	0.87	0.79
ROA (③ × ④) (総資産利益率)	1.3%	1.0%	2.3%	2.4%	4.7%	4.8%
財務レバレッジ	4.45	5.21	5.09	4.78	3.82	3.70

※ROE算出の際の株主資本は期初と期末の平均値を使用しています。

セグメント別実績 四半期推移（累計期間）

(単位：百万円)		2014年3月期				2015年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
レンタル	セグメント売上高	3,697	7,955	12,705	17,375	4,224	9,102	13,906	18,686
	内、内部売上	69	142	241	315	72	157	226	310
関連事業	セグメント利益	124	611	1,369	2,019	283	953	1,535	1,984
	セグメント利益率	3.4%	7.7%	10.8%	11.6%	6.7%	10.5%	11.0%	10.6%
(対前年増減率)	セグメント売上高	△1.0%	1.2%	5.0%	7.8%	14.2%	14.4%	9.5%	7.5%
	セグメント利益	52.9%	49.4%	90.5%	102.4%	128.2%	55.8%	12.2%	-1.7%
販売	セグメント売上高	3,713	7,630	12,546	17,178	4,669	9,922	15,049	20,326
	内、内部売上	465	837	1,283	1,794	896	2,506	3,295	4,441
関連事業	セグメント利益	524	1,040	1,491	2,045	570	1,462	2,011	2,654
	セグメント利益率	14.1%	13.6%	11.9%	11.9%	12.2%	14.7%	13.4%	13.1%
(対前年増減率)	セグメント売上高	39.6%	32.7%	35.9%	27.5%	25.7%	30.0%	19.9%	18.3%
	セグメント利益	176.9%	77.2%	35.6%	29.7%	8.6%	40.6%	34.8%	29.8%
売上高合計		7,411	15,585	25,252	34,553	8,894	19,025	28,995	39,012
内、内部売上		534	980	1,525	2,110	968	2,664	3,522	4,639

セグメント別実績 四半期推移 (会計期間)

(単位：百万円)		2014年3月期				2015年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
レンタル	セグメント売上高	3,697	4,258	4,749	4,669	4,224	4,878	4,803	4,780
	内、内部売上	69	73	98	74	72	85	68	83
関連事業	セグメント利益	124	487	757	650	283	669	582	448
	セグメント利益率	3.4%	11.4%	15.9%	13.9%	6.7%	13.7%	12.1%	9.4%
(対前年増減率)	セグメント売上高	△1.0%	3.3%	12.0%	16.3%	14.2%	14.6%	1.1%	2.4%
	セグメント利益	52.9%	48.5%	145.1%	132.7%	128.2%	37.4%	-23.1%	-30.9%
販売	セグメント売上高	3,713	3,916	4,916	4,631	4,669	5,253	5,126	5,277
	内、内部売上	465	372	445	510	896	1,609	788	1,145
関連事業	セグメント利益	524	515	451	553	570	892	548	643
	セグメント利益率	14.1%	13.2%	9.2%	12.0%	12.2%	17.0%	10.7%	12.2%
(対前年増減率)	セグメント売上高	39.6%	26.8%	41.3%	9.1%	25.7%	34.1%	4.3%	13.9%
	セグメント利益	176.9%	29.7%	△12.0%	16.2%	8.6%	73.2%	21.5%	16.3%
売上高合計		7,411	8,174	9,666	9,300	8,894	10,131	9,930	10,057
内、内部売上		534	445	544	584	968	1,695	857	1,092

IRコンタクト

エスアールジータカミヤ株式会社 経営企画室 広報・IR課：川畑・宮崎

電話番号： 06-6375-3918

ファクシミリ： 06-6375-8827

当社IRサイト <http://ir.srg.jp/ja/Top.html>



HP： <http://www.srg.jp/>

E-mail： ir@srg.jp

住所： 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階

本資料は、2015年3月期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き2015年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。

×E